

2台のピアノの夕べ

アングロサクソンとサン＝サーンス

SOIREE MUSICALE

DEUX PIANOS

ANGLETERRE ET C. SAINT-SAENS

2001年10月13日(土) 19:00

新宿文化センター小ホール

## 第一部 英国の2台ピアノ作品

1. アレック・ローリー：2台ピアノのための組曲  
ALEC ROWLEY: SUITE FOR TWO PLANOS

I. ALLEGRO RISOLUTO – II. MODERATO – III. ALLEGRO MODERATO

\* ローリー(1892–1958)は、英国の作曲家・ピアニストで、ケルト風(アイルランド・スコットランド民謡調)の響きを持つ作品を多く残している。この組曲でも持ち前のケルトの民俗色に加え、印象派風の淡い色彩感をたたえており、旅愁を誘うような雰囲気をかもし出している。

2. レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ：グリーンズリーブス幻想曲  
RALPH VAUGHAN WILLIAMS: FANTASIA ON GREENSLEEVES

\* ヴォーン＝ウィリアムズ(1872–1958)は、近代英国を代表する国民的作曲家であった。当時の欧州大陸の先進的な作曲技法をいち早く英国に持ち込むいっぽうで、英国伝統の民俗音楽の復興にも尽力し、9曲の大規模な交響曲を作曲したほか、〈南極のスコット〉などの映画音楽も手掛けるなど、その業績は大きく、英国民から〈グランド・オールド・マン〉と呼ばれ敬愛を集めた。「演奏されなければ、音楽は、存在しないに等しいのだ」との言葉は、すべての演奏家が肝に銘ずるべき箴言であると思う。〈グリーンズリーブス幻想曲〉では、よく知られたメロディーが、簡素ながら洗練された伴奏を伴って現われてくる。

3. ハワード・ブレイク：2台ピアノのための舞曲集  
HOWARD BLAKE: DANCES FOR TWO PLANOS

I. PARADE – II. SLOW RAGTIME – III. JUMP – IV. MEDIUM ROCK – V. FOLK BALLAD – VI. BOOGIE – VII. JAZZ WALTZ – VIII. CHA-CHA – IX. GALOP

\* ブレイク(1938–)は、現代英国の作曲家・ピアニスト・指揮者である。〈エイリアン〉のリドリー・スコット監督が全幅の信頼を置く作曲家でもあり、〈スノーマン〉〈デュエリスト／決闘者〉〈謀略海域・北海の激闘〉など、映画音楽も幅広く手掛けている。また、故ダイアナ妃30歳の誕生日を祝賀する〈ピアノ協奏曲〉を作曲するなど、英国ではよく知られた存在である。2台ピアノ舞曲集(1976年)では、ポップス・ラテン・ジャズ の多様な要素が巧みに取り入れられている。

---

演奏： 西原・益子(1, 3) 川崎・藤田(2)

## 第二部 サン＝サーンスの2台ピアノ作品 (III)

カミーユ・サン＝サーンス CAMILLE SAINT-SAENS

1835年パリに生まれ、1921年アルジェに没す。フランス近代音楽の開祖。

代表作「動物の謝肉祭」「交響曲第3番(オルガン付き)」など。あらゆるジャンルに作品多数。

### 4. 春は来たりて —— サムソンとダリラ(作品47)より

PRINTEMPS QUI COMMENCE..., D'APRES <SAMSON ET DALILA> OP.47

\*「サムソンとダリラ」は、エキゾチックな題材による壮麗なオペラで、サン＝サーンスの十数曲のオペラの中でも傑作とのほまれ高い。日本でも、今年の夏、第二国立劇場において、小泉首相来場のもと、大々的に上演されたことは記憶に新しい。「春は来たりて」は、劇中歌われるのびやかなアリア(詠唱)で、勇猛なく「バックナール」などと並んでオペラ中の白眉とされている。その有名なアリアの2台ピアノ版である。

### 5. 交響曲第1番 作品2 (2台ピアノ版)

PREMIERE SYMPHONIE OP.2 (TRANSCRIPTION POUR DEUX PIANOS)

- I. ADAGIO - ALLEGRO
- II. MARCHE-SCHERZO (諧謔的行進曲)
- III. ADAGIO
- IV. FINAL (終曲)

\*1853年。サン＝サーンス18歳の出世作。当初、作曲家名を伏せて初演され、初演後に、18歳の少年作曲家の手になる作品と発表されて、聴衆・批評家が驚愕したと伝えられる。グノー、ベルリオーズも、サン＝サーンスが古典派・ロマン派の作曲技法を完全に手中にしていることに驚き、その若い才能を賞嘆したといわれる。確かに、格調高い作曲姿勢が、このような最初期の作品からも一貫していることは、驚くべきことである。とはいえ、後年の安定感ある諸作品に比べれば、若々しく率直な推進力がこの曲からは感じられるようだ。急-急-緩-急の4楽章形式であり、全楽章とも、長調の調性を持つ明るい曲である。

---

演奏：川崎・藤田(4)、西原・益子(5)

\*演奏者紹介\* PIANISTES

西原 昌樹	MASAKI NISHIHARA	1972年岡山県生まれ. 上智大学卒業.
益子 徹	TETSU MASHIKO	1976年栃木県生まれ. 宇都宮大学卒業.
川崎 文彰	FUMIAKI KAWASAKI	1963年福岡県生まれ. 1996年よりピアノを開始.
藤田 徹	TORU FUJITA	1973年埼玉県生まれ. 東邦音楽大学卒業.

---

\*グループPCC コンサート記録\*

2001年2月24日 板橋区民会館小ホール

2台のピアノの夕べ <サン＝サーンス(I)とダマーズ>

<SAINT-SAENS ET JEAN-MICHEL DAMASE>

ダマーズ: ソナチネ, パストラール, トッカータと終曲

サン＝サーンス: アルジェリア組曲, 前奏曲とサラバンド, ヴィクトル・ユゴーへの賛歌

2001年6月2日 トモノホール(市ヶ谷)

2台のピアノの夕べ <セミクラシックとサン＝サーンス(II)>

<DEMI-CLASSIQUE ET SAINT-SAENS>

コール・ポーター・メドレー, ナザレー: コンフィデンシラス, R. R. ベネット: 組曲

サン＝サーンス: アラブ綺想曲, ロマンズ, ヘラクレスの青年時代

---

\*グループPCC 次回のコンサートは, 2001年11月24日(土) エノキザカスタジオ(港区赤坂)で, <クレメンティ生誕250年に向けて——ピアノソロと連弾>を開催します. 2002年に生誕250年を迎える古典派のイタリア人作曲家, クレメンティの作品(ピアノ独奏, ピアノ連弾, 打楽器とピアノ)を全面的にとりあげます. また, 来年は, <2台のピアノの夕べ>を2002年2月に開催するほか, シューベルトの連弾作品の演奏会も開催の予定です.

\*ご意見・ご感想をお寄せ下さい. お手紙は 〒169-8799 新宿北郵便局留め オフィスPCC 宛.  
e-mail は pccpiano@hotmail.com にご連絡ください.